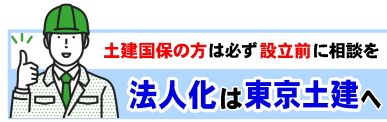


2026年6月1日付組織数
2,547名 (前月比+40名)
2026年1月1日付組織数2,528名



山 村 東 平 小

発行所
東京土建一般労働組合
小平東村山支部
小平市仲町381番地
電話 042-342-2846
FAX 042-342-2848
発行人 染矢 憲広
ホームページ
https://www.dokenkodahiga.jp



8Hours Tシャツを着て
アピールする梅田さん

守ろう！健全会のアピ
国づくり反対、医療を
9条を守ろう、最賃2
000円、戦争をする
自由、8Hoursの
実現グッズ、ピンク色のT
シャツを全員で着て行進出
発、村山大和支部作成のデ
ココア(自由の女神モチー

が元気で印象的でした。
小池晃議員のアピール
が元気で印象的でした。
小池晃議員のアピール
が元気で印象的でした。
小池晃議員のアピール

フで戦争反対と叫んでいる
とのことを先頭に元気よ
くシュプレヒコールができ
た！【花小金井・梅田光夫】



Tシャツとプラカードを掲げて吉祥寺の街を行進しました

第97回 三多摩メーデー

8時間労働をアピール

5月1日(金)、第97回
三多摩メーデーが井の頭公
園西園にて、小雨の中開催
され、全体で1350名、支
部29名が参加しました。

朝からの雨も式典が始ま
るころにはやみ、各政党、
組合からのあいさつも元気
になってきました。共産党
は陽射も出て、支部の
アピール、睡眠、労働、
自由、8Hoursの
実現グッズ、ピンク色のT
シャツを全員で着て行進出
発、村山大和支部作成のデ
ココア(自由の女神モチー

途中心に響きました。
来た、みんなポケット
の小銭を寄付して、
全体で26万円も集まっ
たそうです。団結ガン
パレード出発の頃に
は陽射も出て、支部の
アピール、睡眠、労働、
自由、8Hoursの
実現グッズ、ピンク色のT
シャツを全員で着て行進出
発、村山大和支部作成のデ
ココア(自由の女神モチー

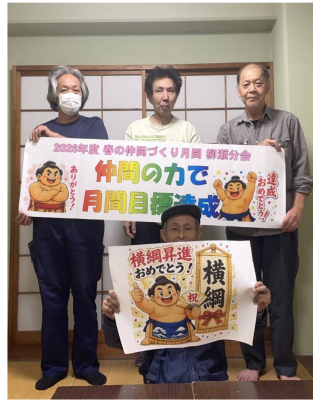
100人の新たな仲間を迎え、支部目標超過達成



一ツ橋分会の皆さん



野火止分会の皆さん



柳瀬分会の皆さん

春の仲間づくりは、支部目標89名に対し、100名の新しい仲間を迎え入れ、支部目標を超過達成することができました。分会目標を達成したのは、一ツ橋、野火止、柳瀬、南の4分会。この成果により1月1日現勢を回復し、さらなる組織拡大への確かな前進となりました。ご協力くださった仲間、そのご家族の皆さまに感謝申し上げます。



組織部
山内勝行部長

野火止分会の皆さん
感謝いたします。



計画を立てる上宿分会の皆さん

2ヶ月間に及ぶ仲間づくり行動お疲れ様でした。各分会の組織部長を中心に、ご尽力いただきありがとうございます。今回の仲間づくりは、私が支部組織部長になってからの初陣ということもあり、とても変化のある行動でした。組合員皆さんのおかげで支部目標も達成出来た事ご協力ありがとうございました。また、皆様様の行動のおかげで、組織部長として華々しいデビューを飾る事が出来た事を心から感謝いたします。

訪問件数が飛躍

今回の仲間づくりの傾向としては、やはり綱取り物語で、仲間への訪問件数が飛躍的に増加した事が挙げられます。この飛躍的増加も皆さんが行ってくれた月間訪問計画が功を奏した結果です。

春の仲間づくり月間最終結果

分会	目標	成果
花小金井	5	1
小平東	6	3
美園	7	5
一ツ橋	5	5
上宿	6	3
小川	6	1
野火止	7	8
柳瀬	6	10
北山	6	3
南	6	9
事業所・直属	29	52
合計	89	100

青年部	5	5
どけじよの会	9	7
けやきの会	10	3



南分会も目標達成

訪問が対話と相談のきっかけに

今回、私は行動の方では日曜日行動で一ツ橋分会、小金井分会、上宿分会、北山分会にスポットで参加させて頂きました。やはりどの分会も集まってきた初動の速さが見受けられました。それに、行動最終盤には上宿分会が横綱昇進！

訪問が対話と相談のきっかけに

訪問先では、メリット集や住宅デー案内を活用して対話の広がりもありました。一方では各分会とも後継者世代への訪問も積極的に行って頂き、ありがとうございます。流石に、働き世代ということもあり、100%会えるというわけにはいかないですが、組合の活動を理解してもらおうとキツカ作りにはなっていると思っております。行動の中で旦那さんはご不在でしたが、奥様が対応してくださった所では色々なお悩み相談もしてくださる場面に遭遇しました。やはり、訪問する事で相談する事に迷っていないで、後押しも出来ると感じ取れました。

中東情勢に伴う緊急アンケートにご協力ください
中東情勢や物価高騰の影響について、皆さんの率直な声をお聞かせください。組合では、実態把握と要請活動に活かすため緊急アンケートを実施しています。回答は下のQRコードからお願いします。



用水路

私は、小平で墓を建てる仕事をしています。しかし、ここ10年程度でお墓を返す仕事、いわゆる墓じまいの仕事がとて増えました。まだまだ建てる仕事のほうが多いですが、建てるお墓は0.5mから6mくらいがほとんどで、年々コンパクトになって印象です。しかし、返還するお墓に関しては4m以上が多く、10mを超える工事も多く、10mを超えます。この墓石の処分がなかなか難しく、リサイクルで使うことはほとんどありません。大部分は細かく砕かれて路面材などになるそうです。

何かいいアイデアが浮かんだ方はぜひお声がけいただけましたら幸いです。(上宿・小澤)

資材高騰・不足深刻化

都と国へ緊急要請

建設現場の実情を訴える

4月28日、31名で東京

都議会に対し、中東情勢の影響に伴う要請行動を行いました。二班に分かれて各会派を訪問し、私は公明党、共産党、立憲民主党を担当し、各会派に対して、「材料が大幅に値上がりしている」「材料が入らず工事ができない」といった現場の声と実情を訴えました。そして、

一、都発注工事等において、現状を踏まえ設計や契約の変更、工期延長などを柔軟に運用すること
二、緊急の経営支援策を講

じること
の二点を要請しました。

各会派の都議の皆さんは、私たちの訴えによく耳を傾けてくださり、都に対して働きかけていただけたらと思います。ありがとうございました。



経産省への要請行動の様子

に立憲民主党では、小平選出の竹井ようこ都議が幹事長として対応していただき、私自身も大変話しやすく、思いを伝えることができました。

また、5月8日には、全建総連、各土建を中心に総勢82人、来賓議員6人、マスコミ8社が参加し、衆議院第二議員会館にて、経産省中小企業庁、財務省国税庁、厚労省に対して要請行動を行いました。経産省には私たち職人を救済するための要望を、財務省には消費税の減税、インボイスの

廃止を、厚労省には雇用を守るための要望をそれぞれ行いました。どの交渉でも参加者からは活発な意見や要望、質問がありました。経産省は比較的現場の声を受け止めている印象を受けましたが、財務省や厚労省については、現行制度の範囲内での対応に終始しているように感じ、厳しい現実も実感しました。

今のままでは、6月以降更に深刻な状況になることは明らかです。倒産したり離職する仲間も増えるかも知れません。諦めず、引き続き我々の声を行政に届ける運動を行っていく必要性

を感じました。最後に記者会見も行われました。各紙がこの情勢を世間に向けて発信し、行政を動かしてくれるよう願うばかりです。

組合員の皆さんも、現場での困りごとや実態を、ぜひ組合へ寄せてください。この危機を乗り越えられるよう、共に頑張りましょう。【サイディング・美園分会 分会長・川合和利】

第4回 こだひが 王将杯

今年もあのプロ棋士が参戦!

2026年 7月26日(日)

会場: 支部事務所2階
参加費: 大人1000円

随分初級者も楽しめる!
中学生以下は参加費無料!

お申込み・問い合わせは担当: 吉岡まで
(tel)042-342-2842

支部10周年記念事業「土建まつり」と同時開催!

「建設業 合同就職説明会」 参加事業所募集

現在の人材不足などの状況を踏まえ、ハローワーク立川・三鷹との共同事業として、「建設業合同就職説明会」を開催します。参加を希望する事業所向け説明会を行いますので、ぜひご参加ください。

【建設業合同就職説明会】

(日時) 10月4日(日) 10時~14時
(場所) 東村山市役所S&D市民センター
(東村山市本町1-1-1)

【説明会】

(日時) ①6月18日(木) 18時~
②6月23日(火) 18時~
※①と②は同じ内容です。

(会場) 支部事務所 (Web参加可)

ご参加希望の方は、

支部へ所定申込用紙をFAX

または、右記のQRコードから

お申し込みください。



ものづくりの楽しさを子どもたちに伝える

グリーンフェスティバル 5月10日、小平中央公園で「こだひら環境グリーンフェスティバル」が開催され、支部からは、けやきの会を中心に木工教室と住宅相談を実施。けやきの会11人が参加し、65人の子どもたちに巣箱づくりを指導しました。



巣箱づくりを体験!

本イベントの巣箱づくりは、小平市が推進する『小鳥がくるまち』活動の一環として取り組まれており、子どもたちが作成した巣箱は秋ごろに市内の緑地に設置される予定となっています。

木工教室では、多くの子どもたちが土建の仲間になりながら巣箱づくりを体験しました。初めてトンカチを握る子どもも多く、会場は大盛り上がり。「ものづくりが好きになった」「大工さんの仕事に興味を持った」といった感想が寄せられ、子どもたちにもものづくりの楽しさを伝える機会となりました。

東村山子どもまつり



一緒に小物入れを作成しました

5月10日(日)に萩山小学校で『第46回東村山子どもまつり』が開催され、東村山建設は、青年部が実行委員会の一員として運営の一端を担い、当日は木工教室に取り組みました。小物入れを作った68人の子どもたちからは「またやってください」「スマホをしまいました」など感想が寄せられました。また、今回はコロナ



青年部書記長 解体・矢倉聖さん

参加者の声

以降、初めて青年部のみで木工教室を開催することができました。建設業の若者の力を結集し、今後も活動を進めてまいります。

現場の声、 教宣部が活かします

あなたの「困った」「感じていること」を教えてください。寄せられた声は、教宣部が集約・整理し、機関紙や支部ホームページの情報発信に活用します。※個別の相談窓口ではありません。※アンケートは、今年度春のメリット集に掲載したものです。回答は、左記QRコードからお願いたします。【受付期限7月末】



群会議の窓

⑧美園分会

昨年から実行されている「10分間群会議」について美園分会では、10ある群のうち3つの群が美園地域センターに於いて開催しておりますが、全員が一同に揃うことは難しく開始時間を18時半と19時から2回に分けてやっています。



センターでの群会議の様子

群にも、「10分間群会議」が開けないかと、若い世代の仲間に声掛けはしているのですが、非常に難しい問題があります。若い世代の仲間は、働き盛りで現場も多方面で、決められた場所と日時では都合を合わせにくいという声があります。そのような中でも、何年も役員を続けている方々が連絡を取り合っており、支那の上手くまとめており、支部の多くの仲間を必要とするのもっと参加してくれないと、このままでは数年後、群の役員どころか、美園分会が危機的状況に陥る事になってしまいますので、若手が参加できる群会議の方法を検討したいといけませんね。【美園・高橋成允】